

慶應義塾大学大学院文学研究科 学位論文審査と学位授与の基準

修士課程

1. 学位論文審査と学位授与の基準

慶應義塾大学学位規程ならびに大学院学則に則り、文学研究科は、次に定める方法、基準、評価項目によって、修士学位論文の審査および修士学位授与の決定を行う。

2. 審査の方法

修士学位の授与は、修士課程における所定の単位を修得し、修士学位論文題目届を提出した学生に対して、次の審査を行うことによって、文学研究科委員会が決定する。

(1) 修士学位論文審査

(2) 最終試験

2.1. 修士学位論文審査と審査体制

上記に定める学生に対して、文学研究科は、修士学位論文審査体制を決定する。修士学位論文審査は、原則として、指導教員を主査とし、これに専攻・分野に関連した本学専任教員2名の副査を加えて行う。状況に応じて、本学名誉教授を副査とすることができる。各学生に対する審査体制については、最終的に、文学研究科委員会の議を経て決定する。主査および副査は、当該論文の査読を行うとともに、当該論文の内容に関する口答もしくは筆答の試問を行う。

2.2. 最終試験

最終試験は、修士学位論文を中心とし、これに関連のある学問的内容について、口答もしくは筆答の試問により行う。2.1 に定める口答もしくは筆答の試問によって、これを兼ねることができる。

2.3. 学位授与の判定

主査は、当該学生が所属する専攻・分野に対して、2.1 および 2.2 による審査結果を報告し、当該専攻・分野は修士学位授与の可否案を策定して、これを文学研究科委員会に報告する。文学研究科委員会は、この報告を受け、最終的に、当該学生への修士学位授与を協議・決定する。

3. 修士学位授与の基準と評価項目

文学研究科は、専攻・分野における研究能力を有し、高度の専門性が求められる職業を担うことができると判断した学生に対して、修士学位の授与を決定する。そのための基準と評価項目は、次の通りである。

3.1. 修士課程における所定の単位を修得し、文学研究科および当該専攻・分野における教育内容を十分に学修していること。

3.2. 別に定める7項目の修士論文における学位論文審査基準を満たした学位論文を提出し、最終試験を含めて、修士論文学位審査に合格していること。

3.3. 文学研究科委員会の議において、修士学位授与が適切であると判断できること。

4. 参照

修士論文における学位論文審査基準

<https://www.gsl.keio.ac.jp/about/degree/index.html>

博士課程

1. 学位論文審査と学位授与の基準

慶應義塾大学学位規程ならびに大学院学則に則り、文学研究科は、次に定める方法、基準、評価項目によって、博士学位論文の審査および博士学位授与の決定を行う。

2. 審査の方法

博士学位の授与は、文学研究科内規に定める学位申請の資格のある申請者に対し、次の審査を行うことによって、文学研究科委員会が決定する。

(1) 博士学位請求論文の審査

(2) 最終試験

2.1. 博士学位請求論文の審査と審査体制

上記に定める学位申請者に対して、文学研究科は、文学研究科委員会の議を経て、博士学位請求論文の受理を判断する。受理を認められた論文について文学研究科は、博士学位請求論文審査委員会を構成し、これを議決する。博士学位請求論文審査委員会の体制および審査方法については、文学研究科内規および各専攻・分野の内規の定めに従う。博士学位請求論文審査委員会は、当該論文の査読を行うとともに、当該論文の内容に関する口答もしくは筆答の試問をおこない、最終的な審査報告書をまとめて文学研究科委員会に提出する。

2.2. 最終試験

最終試験は、博士学位論文を中心とし、これに関連のある学問的内容について、口答もしくは筆答の試問により行う。

2.1 に定める口答もしくは筆答の試問によって、これを兼ねることができる。

2.3. 学位授与の判定

文学研究科委員会は、博士学位請求論文審査委員会による審査報告書を審議する。論文審査の合否は、文学研究科委員会において、出席している文学研究科委員全員の無記名投票によって決定するものとし、全投票数の3分の2以上が合格とした場合に博士学位の授与が承認される。

3. 博士学位授与の基準と評価項目

文学研究科は、卓越した研究能力を有し、きわめて高度の専門性が求められる職業を担うことができると判断できる申請者に対して、博士学位の授与を決定する。そのための基準と評価項目は、次の通りである。

3.1. 文学研究科における教育内容を十分に修得し、当該研究分野における卓越した研究能力を有していると認められること。

3.2. 別に定める7項目の博士論文における学位論文審査基準を満たした博士学位請求論文を提出し、最終試験を含めて、博士学位請求論文審査委員会の審査に合格していること。

3.3. 文学研究科委員会の議において、博士学位授与が適切であると判断できること。

4. 参照

内規

・専攻・分野

哲学・倫理学専攻	哲学分野	https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_Philosophy.pdf
	倫理学分野	https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_Ethics.pdf
美学美術史学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_AestheticsandScienceofArts.pdf
史学専攻	日本史学分野	https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_JapaneseHistory.pdf
	東洋史学分野	https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_AsianHistory.pdf
	西洋史学分野	https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_WesternHistory.pdf
	民族学考古学 分野	https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_ArchaeologyandEthnology.pdf
国文学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_JapaneseLiterature.pdf
中国文学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_ChineseLiterature.pdf
英米文学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/academics/english-and-american-literature/index.html
独文学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_GermanLiterature.pdf
仏文学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/files/naiki/gsl_naiki_FrenchLiterature.pdf
図書館・情報学専攻		https://www.gsl.keio.ac.jp/docs/gsl_naiki_LibraryandInformationScience_2025.pdf

博士論文における学位論文審査基準

<https://www.gsl.keio.ac.jp/about/degree/index.html>